

令和5年度 事業並びに活動報告

1. 教育に関する事項

- | | |
|------------------|---------------------|
| ① 日本助産師学会 | ② 日本助産師会南北関東地区研修会 |
| ③ 母子保健家族計画全国大会 | ④ 日本助産学会・学術集会 |
| ⑤ 日本家族計画協会研修会 | ⑥ 日本母性衛生学会・学術集会 |
| ⑦ 静岡県母性衛生学会・学術集会 | ⑧ 静岡県助産師会研修会 |
| ⑨ 浜松市助産師会研修会 | ⑩ 母乳育児セミナー |
| ⑪ 母子保健セミナー | ⑫ 母子継続看護連絡会 |
| ⑬ 浜松市医療安全研修会 | ⑭ 看護師・助産師養成学校への講師派遣 |
| ⑮ せいれい看護学会 | |

2. 運営に関する事項

- ① 浜松市助産師会 役員会・幹事会
- ② 静岡県助産師会 役員会・理事会
- ③ 日本助産師会通常総会・静岡県助産師会通常総会・浜松市助産師会通常総会
- ④ 専門部会・委員会の活動
- ⑤ 行政委託事業・個人別雇い上げ事業打ち合わせ
- ⑥ 浜松市母子保健推進会議
- ⑦ 要保護児童対策地域協議会
- ⑧ 自殺未遂者支援体制検討会
- ⑨ 母子包括支援ネットワーク会議
- ⑩ GDM 世話人会
- ⑪ 助産師業務拡大に向けてのPR活動

3. その他の事項

- ① 浜松市助産師会主催事業
- ② 行政委託事業
- ③ 個人別雇い上げ事業
- ④ 依頼による講座・相談事業
- ⑤ 湖西市消防隊員との分娩取り扱いに関する勉強会
- ⑥

●令和5年度 定例役員会

県理事会報告（日本助産師会含む）・浜松市各部会及び委員会報告・幹事会の準備・総会の準備

第1回 令和5年 7月21日

第2回 令和5年10月16日

第3回 令和6年 3月17日

●令和5年度 臨時役員会 15回

●令和5年度 幹事会

県理事会報告（日本助産師会含む）・浜松市各部会及び委員会報告・その他

第1回 令和5年 8月 3日

第2回 令和5年11月14日

第3回 令和6年 3月29日

令和5年度 会務並びに庶務報告

令和5年

4月6日	浜松市立看護専門学校入学式 電報	役員
4月14日	第123回 浜松市助産師会通常総会資料の準備	役員
4月22日	第123回 浜松市助産師会通常総会	会員
5月17日	第1回 GDM 世話人会	齋藤
5月18,31日	最新のスキンケア勉強会(川田小児科医)	会員
7月3日	第1回 自殺未遂者支援体制検討会	齋藤、森本
7月5日	第2回 GDM 世話人会	齋藤
7月13日	第1回 浜松市母子保健推進会議	齋藤
7月14日	浜松市新採用保健師研修	齋藤、高洲
7月27日	第1回 こども館運営委員会	齋藤
8月8日	第1回 継続看護連絡会	役員
8月9日	あいホール出前講座打ち合わせ	宇田
8月20日	赤ちゃんの発達とケアを学ぶ～新生児の関わりに自信が持てるようになるために part2～研修会	会員
9月5日	第1回 要保護児童対策協議会代表者会議	齋藤
9月6日	第3回 GDM 世話人会	齋藤
9月6日	あいホール出前講座「女性がいきいきと働きつづけるために」ヤマハ	宇田
9月27日	あいホール出前講座打ち合わせ	宇田
10月2日	第2回 自殺未遂者支援体制検討会	齋藤
10月21日	GDM 研修会(新規パンフレット、リーフレット紹介)	会員
10月26日	第2回 こども館運営委員会	齋藤
10月31日	第2回 継続看護連絡会	役員
11月1日	第4回 GDM 世話人会	齋藤
11月2日	第1回 母子包括支援ネットワーク会議	齋藤
11月9日	あいホール出前講座「女性がいきいきと働きつづけるために」ソミック 石川	宇田
12月4,5日	湖西市(消防隊員)との分娩取り扱いに関する勉強会	役員、金田、豊田

令和6年

1月15日	第2回 自殺未遂者支援体制検討会	齋藤
1月16日	年頭挨拶まわり(市長、健康増進課、子育て支援課)	役員
1月17日	第5回 GDM 世話人会	齋藤
2月15日	第2回 浜松市母子保健推進会議	齋藤
2月20日	第2回 母子包括支援ネットワーク会議	齋藤
3月4日	医療連携検討会	齋藤
3月8日	第2回 要保護児童対策協議会代表者会議	齋藤
3月8日	浜松市立看護専門学校卒業式 電報	役員
3月21日	第3回 浜松こども館運営委員会	齋藤

通 年	浜助・お知らせ作成、送信	小川
	各表彰者推薦書提出	齋藤
	浜松市健康増進課 委託事業打ち合わせ	齋藤 他
	浜松市子育て支援課 委託事業打ち合わせ	齋藤 他
	浜松市各区地域支援連絡会出席	齋藤 他

●受賞関係

令和5年度表彰

・ 健やか親子21 内閣府特命担当大臣表彰	宇田 公美子様
・ 公益社団法人 日本助産師会会長表彰	波多野 美奈子様
・ 社会福祉法人恩賜財団 母子愛育会会長表彰	高洲 昌子様
・ 公益社団法人 母子保健推進会議会長表彰	濱角 由美子様
・ 一般社団法人 日本家族計画協会会長表彰	白井 まなみ様
・ 静岡県助産師会会長感謝状	野々垣 純代様
・ 公益社団法人 日本助産師会永年活動感謝状	久保田 君枝様
	南谷 佐知子様

●入会・退会者（敬称略 令和6年4月1日現在）

入会者 令和5年度 加藤 智子、加藤 ひな子、高橋 実央、水谷 笙子
 令和6年度 齊本 美津子
 退会者 令和5年度 足立 香、大石 理加、中村 岬

●会員数 79名（令和6年4月1日現在）

助産所部会	3名
勤務助産師部会	30名
保健指導部会	46名

令和5年度 助産所部会 活動報告

部会長 高林 香代子

副部会長 高橋 明美

I. 活動内容

1. 助産所部会独自としての活動はなく、勤務助産師部会と合同で研修会を企画運営した。(勤務助産師部会活動報告参照)
2. 浜松市及び静岡県が災害発生時に有床助産所に対してどのような期待をしているのか、またどのような具体的支援要請があるのか情報収集が必要と考えている。

令和5年度 勤務助産師部会 活動報告

部会長 安田 孝子
副部会長 杉山 真理

I. 活動内容

1. 研修会の企画・運営

テーマ：「“フェムケア” についての初めの一步」

日時：令和5年 6月24日（土）13：30～15：00

場所：浜松医科大学 看護学科棟1階 中講義室1

講師：浜松市助産師会 原 真理子氏、安田 孝子氏

参加：8名（講師含む）

内容：①テーマ：フェムケアについて 原 真理子氏

②テーマ：フェムケア初め 安田 孝子氏

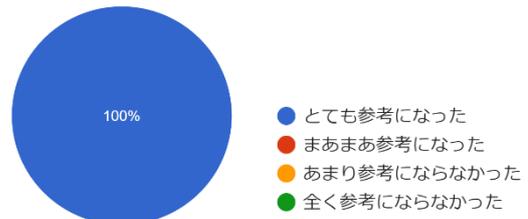
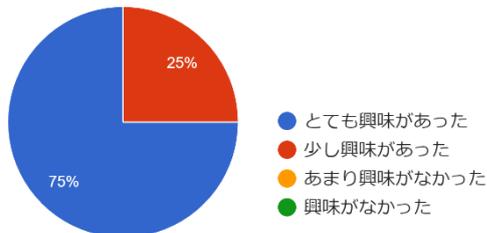
- ・フェムケアとの出会い
- ・フェムケアを実施してみても
- ・タイムライン
- ・フェムケアと他分野のつながり
- ・自己流冷えの原因と対策
- ・考察、まとめ
- ・私のフェムケアとの出会い
- ・フェムケアって何？
- ・フェムテックって何？
- ・フェムゾーンのケア方法 試してみよう！

講演の後に口腔内のオイルケアの実技、フェムケア用品と図書の紹介を行った。

2. 受講後アンケート 回答4名

質問1 「研修会は興味がありましたか？
ですか？」

質問2 「今後の生活に活かそう



質問3 「今後の要望をお書きください。」

- ・フェムケアとしては、本にあった海外の動向や、日本でも産後ケアでフェムケアをしている施設の様子を知れたらなと思いました。自分で調べればよいかも知れませんが、実際やるなら、浜松市でどのような形でできるかを皆さんと話したり、産後入院中にフェムケアの導入にあたる指導が可能かなどディスカッションするのも楽しそうだなと思いました。今回とても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・研修会、ありがとうございました。情報共有ができてよかったです。妊産婦さんの話題だけではなく思春期や更年期の方達に関する話題でもいいと思いました。
- ・女性の体が気持ち良いと反応すること自体がフェムケアになっていることを感じさせていただきました。女性の生活そのものを整えられることの重大性についても学習することができました。ありがとうございました。さらに女性の健康に対する視野を広げていきたいと思いました。今後の要望ですが、思春期の月経困難について関心があります。トラブルを抱えていても学業優先の中でなかなか受診できない学生も多くいます。フェムケアの中でも思春期に焦点があたるような学習ができればいいなあとと思いました。漠然したテーマですみません。

令和5年度 保健指導部会 活動報告

部会長 木下 光代

副部会長 濱角 由美子

I. 活動内容

1. 浜松市との会議・活動

- (1) 母子訪問事業・産後ケア事業（健康増進課・各区健康づくりセンター）
- (2) 「子育て支援ひろば」における妊婦支援事業（子育て支援課）
- (3) 母子継続看護連絡会

2. 研修会参加

- (1) 令和5年10月18日 幼児保育・発達に関する勉強会
「保護者支援を具体的にお話しします」：野藤弘幸氏
- (2) 令和5年12月15日 令和5年度浜松市医療安全研修会
「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策」
：静岡県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課 千須和警部補

3. 保健指導部会活動

- (1) 保健指導部会（対面及びオンライン開催）
令和5年4月22日、6月27日、10月30日、令和6年2月26日
- (2) プレママひろば（3回継続参加型）
第11回 3回目 令和5年8月28日
第12回 令和5年9月4日、9月26日、令和6年3月5日
第13回 令和6年2月1日、2月26日
- (3) 浜松市助産師会ケアパンフレット（助産師のケアを受けてみませんか？）発行
令和6年3月下旬

4. 静岡県助産師会活動

- (1) 保健指導部会 地区代表者会議（オンライン開催）
令和5年5月13日、6月30日、11月23日（研修後対面開催）

5. 教育活動

- (1) 聖隷クリストファー大学 助産学専攻科 母子訪問実習指導
- (2) 聖隷クリストファー大学 看護学部 母性看護学講義依頼

令和5年度 教育委員 活動報告

保健指導部会教育委員 大石 恵美子

勤務助産師部会教育委員 成岡 千恵子

I. 活動内容

1. 研修会

テーマ：赤ちゃんの発達とケアを学ぶ2 ～新生児からのさまざまな抱っこ～

目的：赤ちゃんに心地良い育児は、赤ちゃんの健やかな成長や母親の育児の楽しさ・自信につながるため、分娩時からの新生児の扱いや様々な抱っこのポイントについて実習と講義を通して理解を深め、知識を習得し、支援につなげていく。

日時：令和5年8月20日（日） 9:30～12:30

場所：Web 開催（Zoom 利用） リアルタイムおよびアーカイブ配信

講師：吉田敦子先生（NPO 法人母子フィジカルサポート研究会 代表理事）

内容：1）抱く人が同じでも、抱かれる人が違えば、違う抱っこになる

2）抱かれる人が同じでも、抱く人が違えば、違う抱っこになる

3）抱く目的が違えば、違う抱っこになる

4）抱いている時間や抱きながらの作業で、抱っこは変化することがある

参加者：59名（会員36名 非会員23名/リアルタイム配信23名 アーカイブ配信36名）

参加者の評価：アンケート回答者30名：回収率50.8%

満足27名 やや満足2名 どちらでもない1名

参加者の感想や意見：

- ・抱っこことは、抱かれる人、抱っこする人、目的、時期の違いで変わる変えていく事が必要と学んだ。楽しく辛くない育児が出来るように、今日の学びを伝えていけたらと思います。
- ・時間配分も丁度よく、集中して講義を受けることができました。リモートであり、直接見ながらという事が難しいですが、その中でも動画がありイメージしながら学ぶことができました。
- ・基本的な発達に関する知識や技術の見直しになり、自分の言葉で指導する時により詳しく伝えることができそうだと感じました。
- ・パパママレッスンや妊婦支援ひろばでの抱っこ練習の時に伝えていきたいと思いました。
- ・当たり前に行っている抱っこについて、再度考えてみる機会となった。また最近の育児手
技が不得手な保護者への、アプローチの仕方のヒントを知れた。
- ・今回自分の中では特に人に伝える際に活用できる内容だったと感じており、前回に引き続き受講できてよかったなと思います。
- ・何度も見直しができ、より学びを深めることができました。
- ・前回と同様の内容もあり、復習にはなった。
- ・二画面の時に講師の方の画面が小さかった為、抱っこの動きが見づらく、よく分からなかった。

II. 活動評価

今年度の研修は前年度の「母子の姿勢と発達」の続編とし、抱っこに焦点を当てた内容とした。アンケート結果から、受講者のニーズに合う有意義な研修であったことが伺えた。今年度も前年同様 Web 開催としたが、実技を含む内容のために見づらいという意見も聞かれ、研修内容に合わせた開催方法の検討が課題となった。次年度も引き続き、有意義な研修を目指して企画していきたい。

令和5年度 推薦委員 活動報告

推薦委員 中道 梓
小杉 美佳
西村 奈々

I. 活動内容

令和6年度浜松市助産師会通常総会における役員改選のための準備

令和5年11月	推薦委員における候補者選出
令和5年12月～令和6年1月	立候補者の確認 候補者への依頼、調整
令和6年2月	候補者の決定及び推薦状の発送 書面選挙の書類作成、発送準備
令和6年3月	選挙書類発送
令和6年4月27日	選挙管理委員会を開催、開票作業 総会にて投票結果報告 役員決定

令和5年度 会則委員活動報告

会則委員 稲垣 恵子
押川 浩美
三室 静香

浜松市助産師会会則に定めた項をいくつか変更することとなり、役員会、幹事会で決議した事項を基に一部改正案の作成を行った。

令和5年8月3日 幹事会出席（稲垣）

役員から会則改正内容の指示を確認、その後改正案の作成作業を行った

令和5年11月2日 幹事会出席（三室）

会則改正案の内容を会則新旧対照表で示し、確認（修正なし）

令和6年3月29日 幹事会出席（押川）

総会に向け、会則改正案を幹事会に上程及び確認

令和5年度 災害対策委員 活動報告

災害対策委員 押川 浩美

高橋 明美

I. 活動報告

1. 日本助産師会会員の安否確認訓練

日時：令和5年11月27日(月) 7:00～

内容：「静岡県全域を直撃する大型台風が通過し各地に被害が発生している」の想定で、メールやLINE、電話で実施。72時間で浜松市助産師会全会員の安否確認が完了、訓練終了後に静岡県助産師会（地区理事）に報告した。
今回は各地区で被害を想定して実施した。

2. 湖西市消防隊員との分娩取り扱いに関する勉強会

日時：令和5年12月4、5日

内容：出産介助訓練の講師として、役員、会員（金田、豊田）が参加した。

3. 災害対策委員会議、講座開催

（1）令和5年8月5日静岡県助産師会主催；災害支援助産師養成スキルアップ講座開催
テーマ「災害に対する知識をアップデート」

講師 静岡大学グローバル共創科学部教授 池田恵子先生

グループワークで意見交換

（2）令和5年災害対策連携集会にて意見交換

（3）災害対策地区代表者会議出席

令和5年度 出前講座事業報告

I. 活動内容

1. 会議

- ① 日時：令和5年8月31日 13:00～16:30
内容：今後の事業展開といのちのイベント参加について
- ② 日時：令和6年1月30日 19:30～21:00（Zoomでのオンライン会議）
内容：いのちのイベントについての打合せ

2. 講座 (): 対象

幼稚園・保育園（年長）	: 6園6講座
小学校（1～6年生）	: 12校17講座
浜松市思春期教室（中学2年生）	: 9校9講座
中学校（1～3年生）	: 8校16講座
高校（1年生）	: 1校2講座
その他（小学校PTA向け）	: 1講座
いのちのイベント参加	: 2講座

II. 総括

- 小学生向けの講座では、従来の4年生向けの講座以外に発達支援学級や卒業前の6年生に向けての依頼も増え、学校のニーズに合わせた対応の必要性を感じている。中学生向けの講座では、浜松市思春期教室や卒業前の男女別の講座の依頼が定着してきている。幅広い年代に合わせて、命の大切さを伝えていきたい。
- 本年度は従来の学校依頼に加えて、イベントへの参加依頼があった。主催者から、参加募集が始まると早々に定員に達成したとの報告があり、関心の高さを感じた。

令和5年度 プレママひろば 事業報告

I. 活動内容

1. 1コース全3回（妊娠期2回産後1回）、2回目には前年度参加者も参加

講座時間：13：30～16：00

場所：東部保健福祉センター（いきいきプラザ天竜川2階）

申し込み人数：第11回14名、第12回11名、第13回8名

第11回—3回目	開催：8月28日	参加：母子13組
第12回—1回目	9月4日	妊婦8名
—2回目	9月26日	妊婦8名、母子4組
—3回目	令和6年3月5日	母子7組
第13回—1回目	令和6年2月1日	妊婦7名
—2回目	令和6年2月26日	妊婦6名、母子5組

2. アンケート結果

- 講座を知るきっかけは大方母子手帳交付時の告知だが、今年度はパパママの告知で参加の方も1名あった。
- 全体的な評価は、どの回においても満足度が「良い&やや良い」で100%に近い評価をいただいた。
- それぞれのテーマに関しても、満足度が「良い&やや良い」で80%越えの評価をいただけた。講座時間に関しては「ちょうど良い」が90%であった。
- 同時期の妊婦及び産婦と交流する機会が少ない中、対象者にとって必要な知識の提供やコミュニケーションをとることが出来る、貴重な時間となったことが感想で伺えた。特に、出産育児に対する強い不安が、講座に参加することで前向きな気持ちへと変換できた意見が多数あった。
- 昨年度から継続しての親子参加は半数に近い参加率であり、交流を図れる場へのニーズの高さを感じる。

3. 事業を終えて

- アンケート結果から、継続型講座の意義と必要性を強く感じる事ができた。
- 今年度も、周知や会場使用に関して行政の多大なる協力があり非常に助かった。
- 次年度は料金制となるため、体制の工夫が課題と感じる。

令和5年度 相談事業 事業報告

I. 活動内容

1. 活動期間：令和5年5月～令和6年3月
2. 活動方法
 - ①オンライン相談（Zoomを使用、助産師1人で一回30分で対応）
 - 金曜日：19：30～、20：30～
 - 土曜日：13：00～、14：00～
 - ②メール相談 随時
 - ③電話相談 随時

II. 活動結果（令和6年2月まで）

1. 相談件数：①オンライン 43件 ＊前年度45件
 - ②メール 37件
 - ③電話 109件
2. 相談概要

乳児の体重増加、ミルク量、排便、離乳食、寝かしつけ、妊婦の不安、乳腺炎、復職での授乳、夫への気持ち、保育園、卒乳
3. 事業への感想
 - ・夫婦での参加も数件あり、一緒に考えている様子がみられた。
 - ・相談先が無い中、母子健康手帳交付時や、教室等でチラシをもらったことを思い出して連絡したという方もいた。
 - ・本年も相談を受ける中で行政でのフォローが必要と思われる方には、本人の了承を得て行政に情報提供を行った。ハイリスク管理と思われる方については、行政と連携して対応した。
4. 課題

相談対応者が少なくなり、来年度は別事業と活動時間が重なるため、相談回数を減らしたり、土曜日の相談時刻を変更する予定。

令和5年度 事業別会計報告 (円)

事業	収入	内訳	支出	内訳
保健指導部会	12	事務費	7471	事務費等
教育委員会	108,000	非会員参加費	136,296	講師謝礼等
出前講座事業	31,000	講師派遣料	11,251	備品整備、通信費等
プレママひろば	0		180,000	事務費、保険料、講師料等
相談事業	0		103,000	相談員謝礼等
勤務部会	0		5,000	フェムケア試供品等

- * 大原則
- ・ その状況に合わせて、自分で考え、行動する
 - ・ 大災害時、3日間は自力で生き抜く
 - ・ 災害時における「情報」の重要性を認識する

1. 大地震発生後の安否確認

会員とその家族の安否確認のため、下記の連絡組織図に従って連絡を取り合い、確認する
 会員は、幹事への連絡に加えて、LINE グループ「ザ・浜助」も利用し、互いの安否確認を行う

2. 大地震発生時とその後の対処

- 1) 自分と家族の安全を守る
- 2) 自分のできる範囲内で地域（自治会など）での防災活動に参加する
- 3) 勤務助産師部会は、勤務先のマニュアルに準ずる
- 4) LINE グループ・メール・電話などの連絡方法もとり、互いに協力しあえるよう情報交換を行う

< 組 織 図 >

